

平成 22 年度土壌断面調査実技講習会

開催日：2010 年 8 月 19 日（水）

開催地：多摩森林科学園

参加団体：北海道、秋田県、山形県、埼玉県、千葉県、神奈川県、新潟県、石川県、
福井県、長野県、岐阜県、愛知県、静岡県、三重県、和歌山県、鳥取県、島根県、
岡山県、山口県、徳島県、愛媛県、高知県、福岡県、長崎県、熊本県、大分県、鹿
児島県、林野庁、東京農業大学学生（インターン生）

（計 36 名）

講師：森林総研本所 12 名（金子、田中、森貞、大貫、小林、篠宮、今矢、三浦、稲
垣昌、稲垣善、志知）

都道府県や民間団体等の土壌調査担当者を対象に、土壌調査の実技講習会を行った。多摩森林科学園の庁舎前に集合して赤間園長から挨拶をいただいた後、実験林に移動した。まず、調査プロットで行う杭の確認や写真撮影の方法、植生および地形概況の記載や枯死木の調査法を説明した。続いて 4 班に分かれ、前日に準備しておいた土壌炭素蓄積量調査 2



断面と代表断面調査 2 断面に移動し、午前中はそれぞれの断面においてマニュアルにしたがい調査票の記入、写真撮影、および試料採取方法の説明・実習を行った。土壌炭素蓄積量の調査断面では、調査票の記載、堆積有機物の区分や採取、化学分析および定体積の土壌試料の採取について説明した。代表断面では実習用に用意した横幅の広い土壌断面内に実習生が二人入って土壌断面を観察法や土壌断面調査票の記載法を実習した。昼食時には庁舎中庭において、枯死木の分解度の判別法を、分解程度の異なる枯死木を用いて説明した。午後は、土壌炭素蓄積量調査と代表断面調査の班を入れ替え、すべての実習生が同じ内容を学ぶようにした。本年は 4 年目であり、実習生の多くは調査経験があり、初めの実習生にベテランの実習生が調査方法を説明する姿からも、本調査の方法が良く理解され普及していることがうかがえた。盛夏の実習であったが体調を崩す受講生もなく無事に終了した。参加者の皆さんを始め多摩森林科学園の職員の方々



の協力で、時間内に滞りなく終了することができた。

日程

9:00	集合（多摩森林科学園庁舎玄関） 赤間園長挨拶
9:15	実験林に移動、
9:30	調査概要および枯死木調査法の説明
10:00	堆積有機物及び土壌炭素蓄積量調査法（1班、2班） 代表断面の見方（3班、4班）
12:00	昼休み（堆積有機物及び枯死木サンプル説明）
13:00	堆積有機物及び土壌炭素蓄積量調査法（3班、4班） 代表断面の見方（1班、2班）
15:00	講習会終了